

丹波市社会福祉協議会 南部支所通信

令和6年
5月

丹波市社会福祉協議会は令和6年度4月から業務効率化と効果的な地域支援を目的とした組織改編を行い、柏原・山南地域を所管する南部支所として支えあいのまちづくりを住民の皆様と共に進めています。

事務所はこれまでと同じ柏原福祉センターで、山南福祉センターには南部支所山南分室として職員が常駐して業務を行います。

※電話番号の変更はありません。

topics

- (1) 三菱電機社会インフラ機器株式会社…出張ふくし教室
- (2) 和田地区…ミニ支えあい会議
- (3) 梶自治会…梶健康ひろば

三菱電機社会インフラ機器株式会社

新入社員研修の一環として、当会の出張ふくし教室をご利用いただいています。今年度も地域の現状に加え、災害を切り口につながるの重要性を問い、チーム作りも同時に行う「地域でつなごう助け合い」のゲーム、車いす体験や高齢者疑似体験、フードドライブの活動を行いました。



半日の研修を通して「地域のつながりがなぜ必要なのかを初めて知り、自分にできること、例えば地域の美化活動等にも参加してみようと思いました。」「高齢者疑似体験をすることによってどのような支援が必要なのか、身をもって知ることができ、無関心でいることのないよう日々活かしていきたい。」「人づくりの話を聞き、社会人としての必要な知識が得られたので、これからの仕事に活かしたい。」など嬉しいお言葉を頂きました。当会では、地域はもちろんのこと、企業様向けにも出張ふくし教室を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

- 地区の今とこれからを考える -

和田地区三二支えあい会議

社協では誰もが安心して自分らしく暮らせる地域を目指して、小学校区を中心に地区の現状やこれからの目指す姿を考える場づくり“支えあい会議”を進めています。

5月は和田地区で民生委員・児童委員やボランティア、振興会役員等へ参加を呼びかけ、計8名でミニ支えあい推進会議を開催しました。当日は喫茶たちばなさんの軽食をいただきながら、それぞれの立場や普段の生活で感じるモヤモヤを共有し合いました。



【みんなでワイワイ思いを出し合う♪】

気になるコトから地域全体での取り組みまで幅広く意見が出され、地区内での連携の必要性や実際の手法について意見交換・情報共有を行いました。今後も和田地区を良くしていくための新たな気付きや団体・組織を超えた仲間づくり（連携）のため継続的に開催していく予定です。



- ホッと一息つける地域の居場所 -

梶健康ひろば

梶健康ひろばでは5月から開催場所や運営スタイルを変えて、地域住民の憩いの場所を作られています。今までの会場の公民館では靴の着脱がしんどい方もおられたことから、広場横の倉庫を活用して靴のまま喫茶を楽しめる形に変更されました。当日は30名近い方がお越しになり、「近所に住んでいても顔を合わせない人



もいる。この場に来ると顔を見てお話できるのが嬉しい」と話され、皆さんと楽しい時間を過ごしました。

今後は毎月第2火曜日に開催されるそうです。気軽に来れる、出入り自由の居場所ですので、ぜひ皆さんお越しください♪

【ボランティアと参加者と一緒に撮影☆】



社協ではコーヒーマーカーや保温ポットといったカフェ用品の貸出を行っています。使用に必要な消耗品については利用者負担になりますが、ちょっと一息つける居場所づくりに活躍しますので、ぜひご利用の際は社協までご相談ください。